

SHOWA GAKUIN



昭和学院 広報

第26号

2017.12.22 (金)

昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171～5

http://www.showa-gkn.ed.jp/js/ FAX 047-326-5310

平成29年度 桜和祭

青春謳歌
～今こそはじけろ この瞬間～



昭和学院中学校・高等学校の文化祭“桜和祭”が、9月23日(土)、24日(日)の2日間開催されました。2日目の公開日は天候にも恵まれ、来場者は約3,000人となり大盛況でした。

今年のスローガンは“青春謳歌 ～今こそはじけろ この瞬間～”。これには今この時代を生きている、昭和学院生徒一人ひとりの輝く姿やパワーを来場して下さった全ての方々に感じていただきたい、という願いが込められています。そこから、生徒会や実行委員中心に企画を考案し、さまざまな発表の場を要所に取り入れました。各部の展示発表では、日頃の研究や活動の成果を披露しました。新体操部、吹奏楽部、バトン部といった、全国で活躍する部活動のハイクオリティなパフォーマンスは、多くの来場者を魅了しました。また、今年から空手部が参加して、型や組み手など、力強い演舞を披露し、大変な盛り上がりを見せていました。中高の各クラスでは、学年の特色・特性を活かした展示発表を見ることができ、生徒が年々成長していく姿を感じることができました。特に今年からの新たな試みとして、中学校は各学年、クラスごとの展示発表に取り組み



▲賑わう昭和縁日ストリート

ました。中学1年生は、ストーリーから台詞まで、全て自作の英語劇を実施。電子黒板に台詞の和訳を流すなど、工夫が見られました。また、体験学習コーナーのスライム工場は、子どもたちに大人気でした。中学2年生は、各クラスで英語劇を披露。劇の題材

は、昔話やディズニー作品をリメイクした内容でした。回を重ねるごとに台詞と演技力が高まり、最後にはアドリブも取り入れる臨機応変な行動が、来場者に驚きと感動を与えていました。中学3年生は、修学旅行で学んだ知識を基に、日本文化についてプレゼンテーションを行いました。日頃、授業で利用しているiPadを用いてプレゼンテーションを行う姿は、さすがは中学最上級生と言わせるものばかりでした。また、廊下に設置された、伏見稲荷をモチーフにした鳥居のオブジェは圧巻でした。中学生の一人ひとりが主役となり生き生きと活動していました。



▲中学3年生によるプレゼンテーション

高校生についても、劇、コンサート、動画上映、ダンスパフォーマンスといった、例年見られない内容の展示発表を実施し、高校生の能力の高さを見せてくれました。さらに桜和祭の至る所に、生徒会及び実行委員会が考案した様々な企画、仕掛け(オープニングムービー、シャットコンテストなど)が見られ、桜和祭を盛り上げていました。在校生のみの参加ではありましたが、後夜祭では、ダンス、歌、コントといった個人パフォーマンスなど、新しい形を確立し、昨年度以上の参加者が集まり、会場全体が熱気に包まれていました。

今年度の昭和学院“桜和祭”にご来場いただいた多くの方々、誠にありがとうございました。常に進化し続けている昭和学院の“桜和祭”。来年度の桜和祭では、どのような発展が見られるか、ご期待下さい。

Vancouver 海外教育研修 in Canada



▲ハリソンホットスプリングスにて

7月21日夜、生徒49名は成田空港を出発し、9時間のフライトの後バンクーバーへ到着。ホストファミリーによる温かいウェルカムパーティーから3週間のホームステイが始まりました。1週目は、戸惑うことが多くありましたが、2週目に入ると生徒たちもカナダの生活に慣れ、同世代のカナダ人(パディ)と一緒に受ける英会話の授業はもちろん、カナダの文化や観光も楽しめるようになりました。

今回、生徒たちは非常に多くの経験をし、大きく成長することができました。その中でも特に「コミュニケーションをとることの大切さ」があげられます。拙い英語でも気持ちを伝えようと努力し、それに対して理解しようとしてくれたカナダの方々のおかげで、充実した毎日を送ることができました。英語力不足や文化の違いから、ホームシックになった生徒もいました。しかし、徐々にホストファミリーとの距離を縮め、「自分から周りに働きかけ、自分から楽しむ」という姿勢が見られるようになりました。相手の立場や文化を尊重しながら、自分の意思を自分で表現する。



▲スタンレー・パークにて

これは日本でも同じことではありますが、言葉がなかなか伝わらないカナダだからこそ、思いやりの気持ちと寛容の心を育てることができたように思います。生徒たちにとって、ホームステイは語学力の強化というだけでなく、「意思疎通をするツール」として、どのように英語を学ぶかを考えるきっかけとなったようです。自分でホストファミリーとの問題を解決し、たくましくなっていた生徒に、今後も英語や世界に興味を持ち、成長していくことを期待しています。(引率教諭 加藤真弓)

私は最初、カナダで食文化と言語の違いに苦労しました。慣れるまで大変だったのが、夕食を5時にとることでした。また、言語の違いでは、「苦労した」というよりも自分の伝えたいことがきちんと伝わらないもどかしさを強く感じました。とにかく話し、聞き取る努力をやめないことでコミュニケーションが取れるようになっていきました。カナダに行く理由が何であっても、帰ってきてからもう一度行きたいと思うことが出来れば十分だと思います。今の私にとって、カナダはたくさんの思い出が詰まった大切な国です。(1年J組 関根綾佳)

僕は3週間で英語力が向上したのはもちろん、人間として成長することもできました。海外での生活を体験したことで、日々楽しく生活することができるようになりました。カナダの人は休日に何をするかを事前に決め、準備をします。彼らはそれについて評価し合い、反省し、より良く休日を過ごそうとしています。これはテスト勉強に似ていると思います。良い点を取るために準備をし、結果に対して反省するという根本はすべて同じなのです。

これからは、カナダで学んだことを生かし、毎日がよりよくなるように過ごしていきたいと思っています。(1年H組 時田雄平)



▲ビクトリアにて

合唱コンクール



▲グランプリに輝いた3年3組

今年度の合唱コンクールは、初の試みとして中学・高校合同で開催され、中学1年生の初々しい歌声や、上級学年の声量ある美しいハーモニーが披露された。結果は以下のとおりであるが、どのクラスも短い練習期間の中協力し、思い出に残る合唱コンクールとなる様、一所懸命取り組んだ様子が伝わる合唱となっていた。審査を待つ間に高校3年H組の合唱、特別審査員のオペラ歌手、西岡慎介さんと倉谷千秋さんの演奏もあり、コンクールは大いに盛り上がった。

グランプリ		3年3組				
学年	順位	中学校		高等学校		
		1位	2位	1位	2位	3位
1年		2組	3組	L組	A組	F組
2年		1組		A組	J組	L組
3年		3組	4組			
ブラボー賞		3年3組		1年A組		
奨励賞		3年1組・3年2組 1年J組・2年K組・2年G組				

芸術鑑賞会

11月7日(火)・8日(水)に、伊藤記念ホールにて芸術鑑賞教室が行われた。今年度は、こんにやく座によるオペラ作品「おぐりとてるて」を鑑賞した。

オペラの題材となった『小栗判官と照手姫』は、江戸時代に流行し、広く庶民に浸透したお話だ。愛し合う小栗判官と照手姫は、冥界とこの世に引き裂かれてしまうが、最後には現世で再会し結ばれるという心温まるストーリーである。美女に化け小栗を誘惑する大蛇、エグザイルのような千手観音など、化け物から神仏まで多彩な登場人物に魅了させられた。舞台衣装や小道具にも拘りがみられ、それが物語の残酷さやコミカルさを際立たせていた。生徒たちも、スポットライトが当たっている演者の動きを追いながら夢中になって鑑賞しており、あっという間の2時間だったようだ。



熱演するこんにやく座

SHOWA GAKUIN

中2 職場体験



▲市川東消防署にて

11月16日(木)と17日(金)に中学2年生は、寒空の下、職場体験学習に参加した。これは、本校で行われている「職業調べ学習」「卒業生の話聞く会」等のキャリア教育の一環として今年度も実施されたものだ。

職業体験学習をするにあたり、生徒たちは早くから準備を進めてきた。まず1学期に、希望職種調査を行った。調査アンケートに回答するときの生徒たちは、数ある職種の中から興味のある職種を選択し、将来の働く自分の姿に思いを馳せている様だった。

2学期になると、それぞれの体験先事業所が決まり、受入先事業所ごとのグループリーダーも決定した。その後は、リーダーを中心として、事前の職業に関する調べ学習や電話連絡・訪問等に取り組んだ。特に電話連絡・事前訪問では、はじめは皆緊張した面持ちで

あったが、電話を終えたあとや事業所の訪問を終え学校に帰ってきたときには、社会人に一歩近づいたかのような自信に満ち溢れた表情に変わっていたのが印象的であった。

そして、ついに職場体験の当日を迎えた。朝は、グループごとに集合時間・場所が異なるため、各々が連絡を取り合い連携した結果、問題なく体験先へ向かうことができた。実際の体験では、普段経験することのできない専門技術を要する職業を中心として、働くことの充実感や楽しさを実感したようで、積極的に体験活動に取り組んでいた。また、企業見学に参加した生徒は、企業の内部見学・体験実習において、企業の方の説明を真剣な表情で聞き、企業の仕組みに理解を深めることができたようである。



▲整骨院にて

今回の職場体験は、生徒たちが、働く社会人を目の当たりにし、現場の雰囲気に触れることで、自身の将来について具体的に意識するきっかけとなる2日間になったと思う。この経験から自身の将来の理想像が明確になったという生徒もいた。今後は、将来の理想像がどのように行動していけば実現できるのかを考えて日々の生活を送っていくことを期待する。

ICT教育 ～電子黒板全教室設置～



▲電子黒板での授業

本校は、ICT教育やアクティブラーニング型授業の実践に力を入れている。今年度2学期からは、高校でも全クラスに電子黒板が設置され、ICT機器を用いた授業が生徒たちにとって、身近なものになった。今回は、高校1年生の国語総合での電子黒板を用いた授業の取り組みについて紹介したい。電子黒板では、iPadを経由して教科書をスクリーンに映写したり、授業で活用するプリントや参考書をスクリーンに映写したりすることができる。スクリーンに映写された教科書の本文に傍線を引いたり、矢印を引いたりすることで、生徒はどのように教科書に印を付ければよいか一目でわかるようになる。本文や問題を板書する時間が短縮できるため、生徒が授業内で問題を解いたり、音読をしたり、クラスメイトと話し合いをしたりといった時間を多くとることができるようになった。生徒が書いた感想を写真に撮ってスクリーンに映写して生徒に発表させることで、様々な意見をクラス内で共有することもできるようになった。電子黒板の導入により、生徒が主体的に学ぶことができる授業環境を生み出すことに成功している。ICT教育の取り組みは始まったばかりであり、まだまだ模索している段階である。これからもさらなる研究・改良を重ね、新テストにも対応できるような授業を実践できるように尽力したい。



▲教室の様子

高2 大学・学部説明会

10月24日から11月9日まで、高校2年生対象の大学説明会が本校の会議室で行われた。参加大学は、明治大学、立教大学、中央大学、法政大学、学習院大学、青山学院大学である。数万人が集うオープンキャンパスとは異なり、アットホームな説明会となった。大学の校風、独自のカリキュラムや留学制度、学部学科の説明、入試情報、奨学金制度、就職状況など丁寧な説明を受けた。どの生徒も熱心に聞き入り、質疑応答の後にも個別に質問する生徒も見られた。会の後、勉強のモチベーションが上がったという声も多数聞かれた。高2の秋が受験スタートと言われている。今回の説明会はよりよい進路選択の一助となっただろう。



▲真剣に説明を聞く生徒たち

2020年4月 新制服誕生

2020年度新制服の採用に向け、委員会が発足した。委員は企業が開催する制服の展示会に出向き最新の制服事情に触れるなど、新しい制服が愛されるものになるよう積極的に検討を重ねている。昨年度の桜和祭では、来校者を対象にアンケートを実施。多くの回答から関心の高さが伺えた。今年度もすでに制服製造業者4社によるプレゼンテーションが終了しており、今後は生徒の意見も取り入れながらデザインを決定していく。どのような制服になるか、期待してほしい。



▲制服アンケートの様子

卒業生 横田葵子さん

新体操 報告会



▲喜びを語る横田さん

日本ナショナル選抜チーム・フェアリージャパンPOLAが、《第35回世界新体操選手権大会》の「団体総合」で銅メダルを獲得しました。このメンバーに本学院高等学校卒業生の横田葵子さん(国士舘大学)がいます。大会は2017年8月29日からイタリア・ベサロで行われ、「団体種目別フープ」銅メダル、「団体種目別ボール&ロープ」銀メダルも獲得しました。特に団体総合での銅メダルは実に42年ぶりの快挙です。彼女は「団体総合」と「団体種目別ボール&ロープ」に出場し、この快挙に大きく貢献しました。

横田さんは、9月6日生徒朝礼での報告会にあわせ、前日帰国したばかりで疲れも残る中来校下さいました。



輝くメダルを胸に、堂々と入場される横田さんに、会場にいる人たちは目を奪われました。

フェアリージャパンPOLAの本年度の目標であった「世界選手権団体総合でのメダル獲得」、それが見事実現できた喜びを伝えると共に、2020年東京オリンピックでの更なる活躍を誓われました。

大井校長は、チームの一員になることも難しい状況下で選手になり、更に本番で立派な演技をするということは並大抵の努力ではないと、横田さんを称えました。

メダルを胸に語る横田さんの姿は、自信に満ち輝いていました。世界の一線で活躍する先輩を誇りに思い、更なる活躍を期待し応援していきましょう。



▲高校新体操部部員と

中学・高校全国大会結果

全国中学校体育大会

＜新体操 優勝＞

塩屋 恵美子先生

8月22日～24日 大村市体育文化センター



まさかの優勝でした。県大会、関東大会が失敗で終わり悔しい思いをしたので、自分たちの納得のいく演技ができることが目標でした。

本番では一つの悔いもない改心の演技ができ、本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

＜ソフトテニス部 第3位＞

高原 良江先生

8月18日～20日 長崎市総合運動公園かきどまり庭球場

今年の長崎全中は、青空と強い日差しの中で行われた。3年生の藤本・原ペアを軸に全員一丸となって勝負に挑んだ。苦しい場面を乗り越え、魂のこもったプレーには心が震えた。みんなの力で笑顔の3位入賞を果たした。



インターハイ 第3位・全日本選手権 第7位

＜新体操部＞

塩屋 恵美子先生



全国制覇を目標に挑んだインターハイ。自分たちの改心の出来には少し届かず、悔しい銅メダルとなった。全日本選手権では、部員一丸となり思いの込められた演技で、総合7位入賞を果たした。

第64回NHK杯全国放送コンテスト

＜放送部 入賞＞

藤原 俊一先生

ラジオドキュメント部門に出場。健常者に感動を与える障害を題材にした多くの番組を、障害をもつ方はどう感じているかを追った。障害者の考えを忠実に表現したことが評価され、NHKホールで表彰された。



国民体育大会

第72回国民体育大会、愛顔つなぐえひめ国体が、9月30日から10月10日に行われ、千葉県代表として本学院のハンドボール部、新体操部、水泳部が活躍しました。

＜ハンドボール男子千葉県選抜 準優勝＞ 池畑 大先生



10月5日より開催された今年の大会は、1回戦から接戦続きの苦しい試合。しかし千葉県として、29年ぶりに決勝戦の舞台に立つ事ができ、準優勝という結果を残すことができた。応援ありがとうございました。

＜新体操部 第3位＞

塩屋 恵美子先生

二連覇を目標に強い志をもって挑んだ大会。個人競技の4人、団体競技、全てノーミスで踊りきった。結果は銅メダルだったが、内容は金メダルだったので、悔いは微塵もありません。選手を誇りに思います。



＜水泳部 個人入賞＞

関谷 直樹先生

競泳競技は台風の為、2日間に日程を詰め、アクアパレットまつやまの特設プールで開催された。結果は女子100m背泳ぎで星美里が7位、女子100mバタフライで森柄花菜が8位。両者初の国体で見事に入賞を果たした。来年に繋げてもらいたい。

選手たちの功績を称え、本学院でも11月8日に国体報告会が行われた。



文化教養部主催 第5回文化講演会



▲ 講演される松木氏

氏の講演へ。松木氏は市川市在住、「私を見かけたことがある人はいませんか!」と、気さくに生徒に話しかけた。生徒とのキャッチボールを楽しみつつ、テーマ「夢まっしぐら」へ導いてゆく。

松木氏は、小学校2年生で友達が欲しくてサッカーを始めた。すぐにゴールキーパーで試合に初出場。結果、ベスト11に選ばれ、自分に『欲のスイッチ(日本代表になりたい)』が入った。中学から読売に入り、コーチから違うポジションなら日本代表になれると言われDFになった。市川市から読売の練習場まで2時間かけて通ったが、夢があれば苦ではなかった。16歳でプロになったが、試合に出られない。あるとき0-2で負けていた試合で残り時間5分、必死にアピールし、怪我人の交代でデビューした。たった2分間出場

10月21日(土)文化教養部主催の文化講演会が行われた。講師は、サッカー解説者・元サッカー日本代表の松木安太郎氏である。会場となったメインアリーナには、中学高校の全生徒と約300名の保護者の方々が集まり、松木氏が登場すると拍手喝采となった。講演会は奨学会の山崎会長の挨拶に始まり、大井校長より講師である松木氏の紹介へと続いた。そしていよいよ松木

の、運動量と明るさが評価された。少しずつ出場時間が長くなり、18歳でレギュラー入り。すると、夢の日本代表がちらついてくるが、なかなか声がかからない。うまくいかないことを他人のせいにして、初心を忘れてしまった自分に、コーチから「何かが足りないから選ばれないのでは」と言われ目が覚めた。好きなサッカーを続けようと意識が変わった。すると、当時としては遅咲きの26歳で夢の日本代表となった。「続けていてよかった。人生を助けてくれたのは夢と自信。欲のスイッチをたくさん持ち、自分が持てる力を最後まで出し切ること。好きな気持ちを忘れなければ夢につながることを覚えていて欲しい。」

「すばらしい人生を!」で結ばれた松木氏の言葉は、生徒の胸に響き、自分の進むべき道へ夢と希望を与えてくれたことであろう。



▲ 講演会を終えて花束贈呈

バス研修旅行

11月16日(木)、奨学会研修バス旅行が学校長、奨学会会長、参事、保護者の総勢68名の参加で実施された。最初に訪れたのは日光田母沢御用邸記念公園。紅葉の映える美しい庭園に囲まれた御用邸は明治期以降に数多く造られた中でも最大規模の木造建築で、国の重要文化財に指定されている。邸内は一部に絨毯やシャンデリアなどを用いた和洋折衷の生活様式が採り入れられており、近代和風建築につながる貴重な建造物であった。昼食後は世界遺産の日光東照宮へ向かった。三猿や国宝の陽明門、眠り猫、長い石段を登り徳川家康の墓(奥宮)などを参拝。豪華絢爛な建造物に圧巻され、天井いっぱいに響きわたる澄んだ鳴龍の音色は心が洗われる思いであった。肌寒い気温ではあったが、秋晴れの中、自然と歴史に触れる中で親睦も深まる有意義な研修旅行であった。



▲ 日光丹沢御用邸記念公園

千葉県私学振興大会

今年の千葉県私学振興大会～私学教育を考える集い～は、10月7日(土)に幕張メッセ「国際会議場コンベンションホール」にて開催された。14回を迎えた今大会も1600名を越える参加人数となり盛会であった。本学院からも奨学会役員、教員が大勢参加した。

森田県知事をはじめ、議員の先生方が参加する中、千葉県私学教育の現状を訴えるとともに、今後益々、私学教育が発展していくための4項目を要望することを採択した。また会では千葉県私立高等学校栄光の記録として、インターハイで優勝・準優勝・3位となる活躍をした選手、東京オリンピックちばジュニア特別強化指定選手(本学院高校3年、徳永美緒さんも水泳競技で選ばれている。)の紹介もあり、生徒たちの頑張りに対する受け皿をしっかりと築かなくてはならないと決意を新たにしました。



桜和祭のご協力ありがとうございます

生徒たちが桜和祭を盛り上げる中、奨学会は今年も全面協力し、桜和祭を成功に導いた。総務部は奨学会室を設け、写真や手作り品などの展示。母姉部では厚生補導部と協力し、毎年大好評のバザーを開催。また行事推進部は場内係として、学習施設部と文化教養部は警備係として、生徒や来校者が安全に楽しく過ごせるよう環境を整えた。会員の皆様には多大なるご協力をいただき、感謝している。



中高等学校説明会

第2学期の学校説明会は、10月7日の中学校に始まり、12月までに中学校4回、高校5回が開催された。中学では模擬受験体験にポイント解説、高校では映像を用いたアクティブラーニング実践報告などが行われ、ともに好評であった。全体会の終了後は、施設見学となり、充実した本校の施設を十分に体験していただけた。



▲ 高校説明会の様子

中学・高校とも多くの来会者があり、大変盛況な説明会となり、本校への関心の高さがうかがえた。

中学校推薦入試



▲ 頑張る受験生

12月1日(金)、第1回推薦入試が実施された。緊張した表情で集まってきた受験生たちは、校門で塾の先生を見つけると一瞬笑顔のをぞかせた。国語と算数の2科、または社会・理科を含めた4科と面接にチャレンジした。第2回推薦入試マイプレゼンテーション入試は6日(水)に実施され、各自用意してきた資料を用いての自己アピールは、個性豊かなものであった。両入試とも翌日10時からの合格発表では、ホームページ上で確認し結果がわかっているにもかかわらず、掲示板に自分の番号を見つけ喜ぶ姿が印象的であった。

平成30年度 入試要項

中学校	一般入試	マイプレゼンテーション入試	適性検査型入試	アドバンストチャレンジ入試 (特進特待生入試)
募集人員	20名	10名	20名	20名
志望	併願			
試験日	1月20日(土)		1月21日(日)	1月25日(木)
入試科目	2科 国語・算数 各50分	自己アピールテスト 40分 ① 自己表現文 ② プレゼンテーション ※質疑応答も含む	適性検査型テスト 各45分 ① 適性検査Ⅰ(読解力・表現力) ② 適性検査Ⅱ(教科融合型)	2科 国語・算数 各50分 4科 国語・算数 各50分 社会・理科 各30分
合格発表	1月21日(日) 午前10時		1月22日(月) 午前10時	1月26日(金) 午前10時
入学手続	平成30年1月21日(日)～1月27日(土)		平成30年1月22日(月)～ 1月27日(土)	平成30年1月26日(金)～ 1月27日(土)
納入金延納	延納扱い有り ●公立中高一貫校と併願されている方は、可否発表までお待ちします。			

高等学校	前期選抜試験				後期選抜試験	
募集人員	(男女)196名				(男女)20名	
NET出願期間	平成29年12月21日(木)～平成30年1月11日(木)				平成30年1月18日(木)～ 1月29日(月)	
志望	第1志望		併願		第1志望	併願
入試	A推薦		B推薦		特進(特待生)入試	一般入試
特進(特待生)チャレンジ	なし	有り	なし	有り	有り	なし
入試日時	1月17日(水) 午前9時		1月17日(水) 又は 1月18日(木) 両日とも午前9時		1月18日(木) 午前9時	2月5日(月) 午前9時
入試科目	①「英・数・国」1科目50分 英語リスニングテストあり ② 面接(個人)		①「英・数・国」1科目50分 英語リスニングテストあり ② 面接(個人)		①「英・数・国」1科目50分 英語リスニングテストあり ② 面接(個人)	①「英・数・国」1科目(50分) 英語リスニングテストあり ② 面接(個人)
合格発表	1月18日(木) 午前10時		1月18日(木) 又は 1月19日(金) 両日とも午前10時		1月19日(金) 午前10時	2月6日(火) 午前10時
入学手続等	平成30年1月18日(木)～平成30年1月23日(火)				平成30年2月6日(火)～ 2月9日(金)	
納入金延納	延納扱いなし		延納扱い有り		延納扱いなし	延納扱い有り

※試験について詳しくは要項をご覧ください。

【お問合せ】 〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-17-1 TEL047-323-4171～5 本部事務局